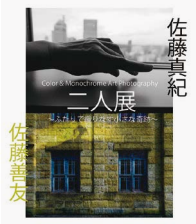


鶴岡市

4月30日(日)～6月4日(日)
羽黒・芸術の森 今井アートギャラリー



佐藤真紀 佐藤善友 二人展

～ふたりで織りなす小さな奇跡～

ワンショットの表現にこだわり、モノクロームのアート写真を追求してきた佐藤真紀さんと、写真の枠にとらわれない色彩と自由な表現を目指してきた佐藤善友さん。お互いの作品が話し返歌のように呼応する、夫婦初の二人展です。アーティストックな写真表現に浸る時間へ、ぜひお出かけください。

開／11:00～16:00(土日祝日は10:00～16:00)
休／月、火曜日
問／今井アートギャラリー
tel.0235-62-3667

▼
ミ
ュ
ー
ジ
ア
ム

酒田市

～7月9日(日)
土門拳記念館



開館40周年記念特別展 「名取洋之助と土門拳 —社会的写真を求めて—」

日本の報道写真の草分けである名取洋之助と、独自のリアリズム写真を追究した土門拳。かつては師弟だった2人を“社会的写真”のキーワードで結んだ写真史上初の企画。日本カメラ財団が所蔵する土門作品など、貴重な資料が多数展示されます。

開／9:00～17:00(入館は16:30まで)
休／会期中無休 入館料／一般1,200円、
高校生600円、中学生以下無料
問／土門拳記念館 tel.0234-31-0028
[トークイベント]5/27(土)14:00～(要予約)

▼
ミ
ュ
ー
ジ
ア
ム

クレードル
インフォメーション

Cradle Info

各種イベントや
庄内にちなんだ書籍などを
精選してご紹介します。
7月号に掲載をご希望の方は、
6月15日まで事務局に
情報をお寄せください。

事務局：出羽庄内地域デザイン

TEL 0235-64-0888
FAX 0235-64-0918
MAIL info@cradle-ds.jp

アル・ケッチャーノ 奥田政行著 『日本再生のレシピ』



食材が育った場所や来歴を学び、未来へ意識を向けて料理を作り続ける奥田シェフ。この本の中の「地球に感謝したくなる料理」がそれを最もよく表しています。レシピ本であり哲学書のようにも、小説のようにもある1冊。「地方再生のレシピ」から「日本再生のレシピ」に進化した、多くの示唆を与えるシェフの力作です。

『日本再生のレシピ』
2023年3月25日発行
共同通信社
本体2,000円+税

▼
書
籍

鶴岡市

6月3日(土)～5日(月)
エビスビル



エビスヤ古物市

鶴岡・銀座通りの通称「エビスヤビル」で開催される毎回人気のマーケット。古道具やアンティーク、フード、生活を彩る花々など10店舗を超える東北一円のショップが勢ぞろい。昭和初期の香り漂う空間で掘り出し物を見つけに出かけませんか。

開／10:00～17:00(6/3は12:00～17:00)
問／エビスヤ古物市実行委員会
tel.0235-35-0645
鶴岡市本町1-6-8(旧小池薬局恵比寿屋本店)

▼
イ
ベ
ン
ト

酒田市
鶴岡市
庄内町

5月27日(土) 酒田市公益研修センター
公益ホール
5月28日(日) 鶴岡市中央公民館
市民ホール
5月30日(火) 庄内町文化創造館
響ホール 大ホール



春秋山伏記プロジェクト
第二回舞台公演 庄内公演
『藤沢周平 春秋山伏記
狐の足あと』

降り積もる雪や庄内弁など、藤沢周平が故郷庄内の風土や気風を描いた『春秋山伏記』。農村の村人を主人公にした「異色」といわれる時代小説を庄内出身の俳優たちが舞台化、東京から発信するプロジェクトの庄内公演です。

開／14:00、18:00(庄内町は18:30)
入館料／チケット全席自由・会場指定 3,000円
チケット取り扱い／みずほ八文字屋、八文字屋
鶴岡店、響ホール
問／オフィス天童 tel.03-3649-8754

▼
公
演